

シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱

1 目的

この要綱は、シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品(ただし、SG-A2 及び SG-A4 に定めるものを除く。)について、農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律施行規則(令和2年財務省・厚生労働省・農林水産省令第1号)第5条に基づく衛生証明書の発行、第16条に基づく適合施設の認定及び第19条に基づく定期的な確認に関する手続を定めるものである。

2 定義

本要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 「家きん肉」とは、鶏、あひる又は七面鳥の可食部位(内臓を含む。)のうち冷凍されたものをいう。
- (2) 「家きん卵」とは、鶏、あひる、ガチョウ、七面鳥又はウズラの卵をいう。
- (3) 「家きん肉製品」とは、原料に含まれる食肉が家きん肉のみであり、かつ、それらが5%以上含まれている製品をいう。
- (4) 「家きん卵製品」とは、家きん卵で作られた製品をいう。
- (5) 「シンガポール向け輸出家きん肉」とは、シンガポール向けに輸出される家きん肉をいう。
- (6) 「シンガポール向け輸出家きん肉製品」とは、シンガポール向けに輸出される家きん肉製品をいう。
- (7) 「シンガポール向け家きん卵製品」とは、シンガポール向けに輸出される家きん卵製品をいう。
- (8) 「都道府県等」とは、都道府県、特別区又は保健所設置市をいう。
- (9) 「都道府県知事等」とは、都道府県知事、特別区長又は保健所設置市長をいう。
- (10) 「食肉衛生検査所等」とは、食肉衛生検査所又は保健所をいう。
- (11) 「食肉衛生検査所長等」とは、食肉衛生検査所長又は保健所長をいう。
- (12) 「食鳥処理場等」とは、食鳥処理場又は食肉処理施設をいう。

3 施設に係る認定手続

- (1) シンガポールへ家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の輸出を希望する食鳥処理場、食肉処理場及び製品製造施設(本要綱において「施設」という。)の設置者又は営業者は、当該施設を管轄する都道府県等の衛生及び畜産部局の協力を得てシンガポール食品庁(本要綱において「SFA」という。)のホームページ

(本要綱において「HP」という。)に定める申請書類(日本語及び英語)を作成し、施設を管轄する都道府県知事等を経由して、厚生労働省宛て申請書類(日本語及び英語)を提出し、当該申請書類の日本語の副本を当該施設が所在する地域を管轄する地方厚生局宛て提出すること。

※ 上記の施設に係る認定手続の詳細は、SFAのHPを参照のこと。

- (2) 申請書類を受け付けた都道府県知事等は、次の①から③までの条件に適合することを審査し、支障がないと認めたときは、施設番号を付し、厚生労働省及び地方厚生局宛て提出すること。なお、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成2年法律第70号。本要綱において「食鳥検査法」という。)第21条に規定する指定検査機関が食鳥検査を行っている場合は、シンガポール向け家きん肉を処理する際に、都道府県知事等が任命した食鳥検査員の直接監視の下、指定検査機関の検査員による食鳥検査を行うこと。この場合、都道府県知事等は、当該施設におけるシンガポール向け家きん肉に対する都道府県等の食鳥検査体制及び食肉衛生証明書の発行体制に係る資料(日本語)を併せて提出すること。
- ① 食鳥検査法第3条に基づく食鳥処理の事業の許可又は食品衛生法(昭和22年法律第233号)第52条第1項の規定に基づく営業許可を有していること。
ただし、食品衛生法第52条第1項の規定に基づく営業許可を必要としない食品を製造する場合にあってはこの限りではない。
- ② HACCPに基づく衛生管理を実施していること。
- ③ その他食鳥検査法、食品衛生法等の関係法規を遵守していること。
- (3) 厚生労働省は、上記申請書類を受理した場合、SFAへ当該申請書類を送付すること。
- (4) SFAによる施設の認定に当たり、書類審査及び必要に応じて施設の現地調査が実施されること。
- (5) SFAにより認定を受けた施設(本要綱において「認定施設」という。)及び品目が、SFAのHPに掲載されたことを確認次第、厚生労働省は都道府県等を通じてその旨通知すること。

4 輸出要件

- (1) シンガポール向け輸出家きん肉

以下の要件を満たすこと。

- ① 日本において生まれ、日本で飼育された家きん由来であること。
- ② 我が国において、高病原性鳥インフルエンザ(本要綱において「HPAI」という。)及び低病原性鳥インフルエンザ(本要綱において「LPAI」という。)のH5及びH7型が家畜伝染病予防法第12条の2に基づく通報対象疾病であること。
- ③ 我が国が、輸出日前3か月間、HPAI若しくはLPAIのH5若しくはH7型の清浄国であること。または、HPAI又はLPAIのH5及びH7型の発生時には、その影響を受けていない都道府県に由来する家きんから得られた家きん肉であること。
- ④ 我が国において、鳥インフルエンザワクチン接種が行われていないこと。
- ⑤ サルモネラ属菌による汚染を防ぐために、効果的な農場管理やとさつ及び解体処理

が行われていること。

- ⑥ 認定施設で処理され、冷凍された家きん肉であること。
- ⑦ 食品添加物を使用する場合にあっては、別添1に示す食品添加物の基準を遵守していること。

(2) シンガポール向け輸出家きん肉製品

以下の要件を満たすこと。

- ① 日本国内で処理された原料家きん肉を使用し、シンガポール向け家きん肉製品を製造する場合は、家きん肉製品の原料となる家きん肉は、日本において生まれ、日本で飼育された家きん由来であること。
- ② 我が国において、HPAI 若しくは LPAI の H5 若しくは H7 型が家畜伝染病予防法第 12 条の 2 に基づく通報対象疾病であること。
- ③ 我が国が、輸出日前 3 か月間、HPAI 及び LPAI の H5 及び H7 型の清浄国であること。または、HPAI または LPAI の H5 及び H7 型の発生時には、以下のいずれかであること。

ア 当該製品に対し、国際獣疫事務局（本要綱において「OIE」という。）の基準に基づく鳥インフルエンザウイルスを不活化する加熱処理が十分なされていること。

イ 疾病発生の影響を受けていない都道府県に由来する家きんから得られた家きん肉製品であること。

- ④ 我が国において、鳥インフルエンザワクチン接種が行われていないこと。
- ⑤ シンガポール向け輸出家きん肉製品の製造工程において、アルコール等で食肉又は製品を消毒しないこと。

⑥ 原料家きん肉

シンガポールへ輸出する家きん肉製品の原料として使用する家きん肉は、以下のいずれかであること。

ア 日本国内で処理された家きん肉を原料としてシンガポール向け輸出家きん肉製品を製造する場合

国内の認定施設で処理された家きん肉以外の肉を含まないこと。

イ 輸入した家きん肉を原料としてシンガポール向け輸出家きん肉製品を製造する場合

シンガポールへ家きん肉の輸出が認められている施設由来の家きん肉であること。また、当該家きん肉が処理された国・地域又は施設が、シンガポール向け輸出家きん肉製品の製造日より前に SFA により輸出停止措置を受けていないこと。なお、SFA が輸入を認めている施設及び SFA による輸出停止措置を受けている施設の情報については、次に掲げる SFA のホームページに掲載されている。SFA が第 3 国による施設の管理を認めている国の施設については、記載されている当該第 3 国のホームページへのリンクを参照し、確認すること。

<https://www.sfa.gov.sg/newsroom>

<https://www.sfa.gov.sg/tools-and-resources/accredited-overseas-meat-and-egg-processing-establishment>

(3) シンガポール向け輸出家きん卵製品

以下の要件を満たすこと。

- ① 加工に当たっては、自動洗卵機により洗浄された卵か、割卵前に乾燥させた清潔な正常卵を使用しなければならない。なお、自動洗卵機による洗浄において、消毒液（例：有効塩素濃度 50～200 ppm）の使用は可能である。
- ② 我が国が、採卵日及び輸出日前 3 か月間、HPAI 及び LPAI の H5 及び H7 型の清浄国であること。または、HPAI 若しくは LPAI の H5 若しくは H7 型の発生時には、以下のいずれかであること。
 - ア 当該製品に対し、OIE 基準に基づく鳥インフルエンザウイルスを不活化する加熱処理が十分なされていること。
 - イ 疾病発生の影響を受けていない都道府県に由来する家きんから得られた家きん卵製品であること。
- ③ シンガポール向け輸出家きん卵製品の製造工程において、アルコール等で製品を消毒しないこと。

5 衛生証明書の発行等

(1) シンガポール向け輸出家きん肉

① 検査申請

シンガポールに家きん肉を輸出しようとする者は、当該家きん肉の処理を行った認定施設を管轄する食肉衛生検査所等に、別紙様式 1 により検査を依頼すること。なお、電子メール又は輸出入及び港湾関連情報処理システム（本要綱において「NACCS」という。）により申請を行う場合にあっては、別添 2 によること。

② 食肉衛生証明書の発行等

食肉衛生検査所等は、検査に合格した家きん肉に対して、当該家きん肉の出荷時に、別紙様式 3-1 により食肉衛生証明書を発行すること。当該証明書は、原本及び副本を申請者に発行するとともに、原本の複写を食肉衛生検査所等に保管すること。

また、申請者は、交付された食肉衛生証明書に対応する家きん肉について、ロットの再構成や封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該証明書を返納すること。

(2) シンガポール向け輸出家きん肉製品

① 原料家きん肉の証明

ア 日本国内で処理された家きん肉を原料として使用し、シンガポール向け家きん肉製品を製造する場合は、以下により原料食肉証明書の発行を申請すること。

(ア) シンガポールに家きん肉製品を輸出しようとする者は、あらかじめシンガポールへ輸出する家きん肉製品の原料家きん肉を処理する者に対し、原料食肉証明書（別紙様式 4）の原本の提出を依頼すること。なお、電子メールによる申請を行う場合にあっては、別添 2

によること。

(イ) 依頼を受けた者は、別紙様式1により、当該家きん肉を処理する認定施設を管轄する食肉衛生検査所等に対して、原料食肉証明書の発行を依頼すること。

(ウ) 食肉衛生検査所等は、検査に合格した家きん肉に対して、当該家きん肉の出荷時に原料食肉証明書を発行すること。当該証明書は、原本及び副本を申請者に交付するとともに、原本の複写を食肉衛生検査所等に保管すること。

(エ) 申請者は、交付された原料食肉証明書に対応する家きん肉について、認定施設への輸送途中に封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該証明書を返納すること。

イ 輸入した家きん肉を使用してシンガポール向け家きん肉製品を製造する場合は、次項の手続において使用するため、輸入時に、外国の政府機関が発行した当該原料家きん肉に対する衛生証明書の原本及び輸入検査証明書を複写し、保管すること。

② 衛生証明書の発行等

ア シンガポールに家きん肉製品を輸出しようとする者は、別紙様式2による衛生証明書発行申請書に以下に掲げるいずれかの書類を添付して、認定施設を管轄する保健所宛て提出すること。なお、電子メール又はNACCSによる申請を行う場合にあっては、別添2によるものとする。

(ア) 日本国内で処理された家きん肉を原料として使用している場合
原料食肉証明書（別紙様式4）

(イ) 輸入した家きん肉を原料として使用している場合
外国の政府機関が発行した衛生証明書の判読可能な複写

イ 保健所は、輸出の都度食品衛生監視員が、荷口と申請内容を確認した上で、別紙様式3-2による衛生証明書を申請者に発行すること。ただし、直近3回の輸出の際の荷口確認において問題が認められない営業者については、食品衛生監視員による荷口の確認を月1回まで減ずることができる。輸入した家きん肉を使用している場合は、申請者から提出された外国の政府機関が発行した衛生証明書の判読可能な複写に基づき、衛生証明書に記載する証明事項の真偽について審査して差し支えない。保健所は、輸入原料家きん肉の仮証明（申請者から提出された外国の政府機関が発行した衛生証明書の判読可能な複写に、証明書発行保健所が確認印を押印したものをいう。本要綱において同じ。）を、衛生証明書と併せて申請者に交付すること。

ウ 証明書発行保健所は、衛生証明書の原本及び副本を申請者に発行するとともに、原本の複写を保管すること。なお、輸入原料家きん肉の仮証明についても、複写を保管すること。

エ 申請者は、交付された衛生証明書に対応する家きん肉製品について、ロットの再構成や封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該証明書及

び輸入した家きん肉を使用している場合は、輸入原料家きん肉の仮証明を返納すること。

(3) シンガポール向け輸出家きん卵製品

① 衛生証明書の発行申請

シンガポールに家きん卵製品を輸出しようとする者は、当該家きん卵製品の製造を行った認定施設を管轄する保健所に、別紙様式2による衛生証明書発行申請書を提出する。なお、電子メール又はNACCSにより申請を行う場合にあっては、別添2によること。

② 衛生証明書の発行等

保健所は、輸出の都度食品衛生監視員が、荷口と申請内容を確認した上で、別紙様式3-3による衛生証明書を発行すること。ただし、直近3回の輸出の際の荷口確認において問題が認められない申請者については、食品衛生監視員による荷口の確認を月1回まで減ずることができる。衛生証明書は、原本及び副本を申請者に交付するとともに、原本の複写を保健所に保管すること。

申請者は、交付された衛生証明書に対応する家きん卵製品について、ロットの再構成や封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該証明書を返納すること。

6 輸出検疫証明書の交付手続

(1) 動物検疫所への輸出検査の申請

シンガポールに家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品を輸出しようとする者は、動物検疫所に対し、家きん肉及び家きん肉製品にあっては別紙様式5-1、家きん卵製品にあっては別紙様式5-2の条件を確認した上で、家畜伝染病予防法施行規則（昭和26年農林省令第35号）第52条に規定する輸出検査申請書に衛生証明書の複写及び輸入原料家きん肉を使用した製品を輸出する場合は、輸入原料家きん肉の仮証明及び輸入検疫証明書の複写を添えて輸出検査を申請すること。

(2) 輸出検疫証明書の交付

① 動物検疫所は、シンガポール向けに輸出が可能なものであることが確認できた家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品に対して、家きん肉及び家きん肉製品にあっては別紙様式5-1、家きん卵製品にあっては別紙様式5-2により輸出検疫証明書を交付すること。輸入した家きん肉を使用している製品を輸出する場合は、輸入原料食肉衛生証明書（提出された輸入原料家きん肉の仮証明に、動物検疫所が、輸入時の原本と相違ないことを確認の上、確認印を押印したものをいう。本要綱において同じ。）を、輸出検疫証明書とともに交付すること。

② 動物検疫所は、輸出検疫証明書の原本及び副本を申請者に交付するとともに、原本の写しを動物検疫所に保管すること。なお、輸入原料食肉衛生証明書については、複写を保管すること。

③ 申請者は、上記により交付された輸出検疫証明書に対応するシンガポール

向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品について、ロットの再構成や封印シールの開封等を行った場合には、速やかに当該輸出検疫証明書及び輸入した家きん肉を使用している場合は、輸入原料食肉衛生証明書を動物検疫所に返納すること。

7 家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の輸出

申請者は、シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の輸出に当たり、衛生証明書の原本及び輸出検疫証明書の原本を添付して輸出すること。輸入原料家きん肉を使用した製品については、輸入原料食肉衛生証明書も添付して輸出すること。

8 認定後の事務等

(1) 都道府県等による認定施設等の定期的な確認等

- ① 都道府県知事等は、認定施設について、定期的に監視、検査等を行い、3(2)及び4の衛生管理に係る要件が適正に実施されていないと判断した場合は、改善指導、衛生証明書発行の停止等の措置を講じることができるものとする。
- ② 都道府県知事等は、上記の措置を講じた場合、速やかに地方厚生局に報告すること。
- ③ シンガポール向け輸出家きん卵製品の認定施設が他の施設で製造された液卵を使用する場合、都道府県知事等は、当該液卵製造施設に対し、3(2)及び4(3)①の要件の遵守状況※を定期的に確認すること。

※ 認定施設を管轄する保健所が、原料として納品された液卵を収去し、国内基準の適合状況を確認する又は当該液卵製造施設から誓約書や定期的な自主検査結果の提出を求め、認定施設を管轄する保健所がこれを確認する等を行うこと。

(2) 厚生労働省による認定施設の定期的な確認等

- ① 厚生労働省は、地方厚生局の担当官を年1回認定施設に派遣し、査察等を実施すること。
- ② 地方厚生局の担当官は、3(2)、4、5及び8(1)に掲げる事項が適正に実施されていることの確認を行うこと。
- ③ 厚生労働省は、査察の結果、上記②の内容が適正に実施されていないと判断した場合は、改善指導、衛生証明書発行の停止等の措置を講じることができる。

(3) 輸出製品の変更の申請等

① 輸出製品の追加及び変更

ア 営業者は、既に申請した製品と異なる製品をシンガポールへ輸出しようとする場合、別紙様式7-1及び別紙様式10によりあらかじめ、都道府県知事等に次に掲げる関係資料(日本語及び英語)を添付して申請書を提出すること。申請書を受けた都道府県知事等は、内容を確認し、変更にし支えない場合には、当該申請書類(日本語及び英語)を厚生労働省宛て提出し、併せて、当該申請書類の日本語の副本を地方厚生局宛て提出すること。

- (ア) 輸出予定の製品の製造工程等（CCP、加熱条件、中心部の温度及び当該温度が維持される時間を含む。）
- (イ) 原材料の畜種及びその仕入先
- (ウ) 最終製品のカラー写真
- (エ) 製品説明書（賞味期限、保存状態、最終製品の調理方法等を含む）

イ 厚生労働省は、提出された申請書類について審査を行い、当該申請が本要綱の要件を満たしていると認められた場合には、その旨を SFA 宛て通知すること。また、厚生労働省は、SFA のホームページに当該認定施設の輸出可能品目に変更されたことを確認次第、都道府県知事等を通じて、営業者にその旨通知すること。

② 輸出食肉製品の取下げ

ア 営業者は、シンガポール向け輸出製品として申請した製品を製造しなくなった場合は、別紙様式 7-2 及び別紙様式 10 により都道府県知事等を通じて厚生労働省及び地方厚生局宛て輸出製品の取下げの届出を行うこと。

イ 厚生労働省は届出の受理後、その旨を SFA 宛て通知すること。

(4) その他の変更及び認定の取下げの届出

① 変更の届出

ア 施設の変更の届出

営業者は上記（3）以外の 3（1）の申請事項について変更しようとするときは、あらかじめ都道府県等の了承を得るものとし、変更後、別紙様式 8 に関係書類（日本語及び英語）を添えて都道府県等を経由して当該変更の内容及び年月日を厚生労働省宛て届出し、併せて、当該変更届の日本語の副本を地方厚生局宛て提出すること。厚生労働省は、必要に応じて、変更内容を SFA 宛て通知すること。

イ 監視体制等の変更の届出（家きん肉に限る。）

シンガポール向け輸出家きん肉取扱施設を所管する都道府県等は 3（2）の監視体制等を変更しようとするときは、別紙様式 9 に関係書類（日本語）を添えてあらかじめ当該変更の内容及び変更予定日を厚生労働省宛て届出し、併せて、当該変更届副本を地方厚生局宛て提出すること。

② 認定の取下げ届

ア 都道府県知事等は別紙様式 8 により営業者から認定の取下げの届出があった場合は、厚生労働省宛て提出し、併せて、当該取下げ届の副本を地方厚生局宛て提出すること。

イ 厚生労働省は、アにより提出された書類を受理後、速やかに当該施設の認定の取下げを SFA 宛て通知すること。

- (1) 認定施設が、1の各項目を遵守していることを確認すること。
- (2) シンガポール向け輸出家きん肉について、衛生証明書の発行前に、食品添加物の使用基準が遵守されていることを確認すること。

(別添 2)

電子メール又は NACCS による原料食肉証明書及び衛生証明書の発行申請手続

1 原料食肉証明書の発行申請前の手続（家きん肉製品に限る。）

家きん肉製品を輸出しようとする者（本要綱において「家きん肉製品輸出者」という。）は、別紙様式 6 に必要な事項を記入の上、次に掲げるとおり年度内の輸出計画書を作成し、書面にて原料家きん肉の処理を行う認定食鳥処理場等を管轄する食肉衛生検査所長等宛てに提出すること。

- (1) 輸出計画は、前年度の輸出実績、当該年度の事業計画等を踏まえ、提出時点で作成可能な内容を記載すること。
- (2) 一つの輸出計画書に、同一の保健所で衛生証明書を発行する他の輸出先国及び地域向けの輸出計画を併せて記載して差し支えない。
- (3) 輸出先国及び地域や輸出品目に追加が生じた場合は、同様式により輸出計画の変更を届け出ること。なお、輸出年月及び数重量に変更が生じた場合にあつては、変更の届出は要しない。

2 原料食肉証明書の発行申請手続（家きん肉製品に限る。）

家きん肉製品輸出者は、食肉製品を輸出しようとする都度、電子メールを利用して原料食肉証明書の発行申請に必要な書類を食肉衛生検査所等宛てに提出すること（その際、発行申請書への代表者印等の押印は要しない。）。なお、1 (1) の輸出計画書を予め提出していない輸出先国、地域又は畜種の輸出を行う場合は、必要な書類を郵送等により提出すること。

また、発行申請に当たっては、以下の事項に留意すること。

- (1) 申請に利用する情報システムについて、セキュリティ対策に努めること。
- (2) 原料食肉証明書の受取方法について食肉衛生検査所等とあらかじめ調整すること。

3 衛生証明書の発行申請前の手続

(1) 電子メールにより発行申請を行う場合

家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品を輸出しようとする者（本要綱において「輸出者」という。）は、別紙様式 6 に必要な事項を記入の上、次に掲げるとおり年度内の輸出計画書を作成し、書面にて認定施設を管轄する食肉衛生検査所長等宛てに提出すること。

- ① 輸出計画は、前年度の輸出実績、当該年度の事業計画等を踏まえ、提出時点で作成可能な内容を記載すること。
- ② 一つの輸出計画書に、同一の食肉衛生検査所等で衛生証明書を発行する他の輸出先国及び地域向けの輸出計画を併せて記載して差し支えない。
- ③ 輸出先国及び地域や輸出品目に追加が生じた場合は、同様式により輸出計画の変更を届け出ること。なお、輸出年月及び数重量に変更が生じた場合にあつては、変更の届出は要しない。

(2) NACCSにより発行申請を行う場合

輸出者は、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社のウェブサイトに掲載されているNACCS掲示板にアクセスし、同社に対して、輸出証明書等発給申請業務の利用申込みの手続を行うこと。

4 衛生証明書の発行申請手続

輸出者は、家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品を輸出しようとする都度、電子メール又はNACCSを利用して衛生証明書の発行申請に必要な書類を食肉衛生検査所等宛てに提出すること（その際、発行申請書への代表者印等の押印は要しない。）。なお、電子メールにより申請を行う場合であって、3（1）の輸出計画書を予め提出していない輸出先国、地域又は畜種の輸出を行う場合は、必要な書類を郵送等により提出すること。

また、発行申請に当たっては、以下の事項に留意すること。

- (1) 申請に利用する情報システムについて、セキュリティ対策に努めること。
- (2) 衛生証明書の受取方法について食肉衛生検査所等とあらかじめ調整すること。

(別紙様式1 検査申請書様式(家きん肉、家きん肉製品))

年 月 日

都道府県知事

保健所設置市長 殿

申請者 住所
氏名 印
法人にあつてはその名称、所在地、及び
代表者氏名

食 鳥 検 査 申 請 書

シンガポール向け輸出 $\left[\begin{array}{c} \text{家きん肉} \\ \cdot \\ \text{家きん肉製品の原料となる家きん} \end{array} \right]$ につき、検査を受けたいので下記のとおり申

請いたします。

また、下記の食鳥は日本において生まれ、日本で飼育された家きん由来であることを誓約します。

記

- 1 農場名:
- 2 農場所在地:
- 3 出荷する家きんの品種:
- 4 処理数:

(別紙様式2 衛生証明書発行申請書様式(家きん肉製品、家きん卵製品))

年 月 日

都道府県知事
保健所設置市長 殿
特別区長

申請者 住所
氏名 印
法人にあつてはその名称、所在地、及び代表者氏名

シンガポール向け輸出

家きん肉製品 ・ 家きん卵製品

 の衛生証明書の発行申請書

下記施設で取り扱うシンガポール向け輸出家きん肉製品又は家きん卵製品に添付する衛生証明書の発行を申請します。

記

- (1) 荷送人の名称、住所、郵便番号及び電話番号
- (2) 荷受人の名称、住所、郵便番号及び電話番号
- (3) 製品の詳細
- (4) 製品の原料の動物種及び原産国 (ISO 番号)
- (5) シッピングマーク
- (6) 包装数
- (7) 総重量及び実重量
- (8) 保管方法 (常温・冷蔵・冷凍) : 常温 冷蔵 冷凍
- (9) 製造日
- (10) 食鳥処理場の名称、住所及び認定施設番号 (家きん肉製品に限る。)
- (11) 食肉処理場の名称、住所及び認定施設番号 (家きん肉製品に限る。)
- (12) 家きん肉製品又は家きん卵製品の製造施設の名称、住所及び認定施設番号

号

(添付書類)

- (1) 原料家きん肉がシンガポールの衛生要件を満たしていることを証明する書類
ア 日本国内で処理された原料家きん肉を使用する場合は、原料食肉証明書(別紙様式4)
イ 輸入した食肉を使用する場合は、輸出国政府機関が発行した当該食肉に対する衛生証明書の原本の判読可能な複写[※]
- (2) その他関係書類

[※]当該食肉の輸入時に複写し保管しておくこと (要綱5 (2) ①イを参照)

HEALTH CERTIFICATE FOR EXPORT OF
FROZEN POULTRY MEAT FROM JAPAN TO SINGAPORE

No. :

DATE :
(Month/Day/Year)

I. Identification of the products

(Species of origin)	(Name of products)	
(Number of packages)	(Net weight of consignment with unit of measurement)	(Shipping marks)
(Consignor)	(Consignor address)	
(Consignee)	(Destination)	

II. Origin of products

(Name)	(Est. No.)	(Address)
(Slaughterhouse)		
(Cutting/Processing plant)		

Date of slaughter:

Date of production:

Type of packaging:

I hereby certify that:

- 1) The frozen poultry meat is derived from poultry that were born, raised and slaughtered in Japan.
- 2) The frozen poultry meat is derived from animals which passed ante-mortem and post-mortem inspections under veterinary supervision - and were found free from contagious, infectious and parasitic diseases at time of slaughter. Ante-mortem and post-mortem inspections have been carried out by veterinarians or meat inspectors under direct supervision of government veterinarians.
- 3) The frozen poultry meat is derived from animals which were slaughtered, processed, -packed and stored hygienically at above-mentioned establishment(s) approved by the Director-General, Food Administration for export to Singapore, and is found to be sound, wholesome and fit for human consumption.
- 4) The frozen poultry meat mentioned above has not been treated with chemical preservatives or other foreign substances that could be harmful to human health.
- 5) The frozen poultry meat mentioned above was packed under hygienic conditions and every precaution has been taken to prevent contamination prior to export.

(別紙様式 3 - 1 衛生証明書様式 (家きん肉))

Name of meat inspector :

Official title :

Signature :

(Name of prefecture or city) :

**HEALTH CERTIFICATE FOR EXPORT OF
PROCESSED POULTRY PRODUCTS FROM JAPAN TO SINGAPORE**

No. :

DATE :
(Month/Day/Year)

I. Identification of the products

(Species of origin)	(Name of products)	
(Number of packages)	(Net weight of consignment with unit of measurement)	(Shipping marks)
(Consignor)	(Consignor address)	
(Consignee)	(Destination)	

II. Origin of products

(Name)	(Est. No.)	(Address)
(Slaughterhouse)		
(Cutting plant)		
(Processing plant)		

Date of production:

Type of packaging:

I hereby certify that:

- 1) The meat which is the raw material of the poultry products is derived from animals that were born, raised and slaughtered in Japan.

OR

- 1) The poultry products have been prepared from poultry which originated from establishments in the third countries/regions authorized by the Singapore Food Agency (SFA) and are not suspended or subjected to zonal restriction imposed by the SFA from exporting to Singapore.
- 2) The meat which is the raw material of the poultry products is derived from animals which passed ante-mortem and post-mortem inspections under veterinary supervision and were found free from contagious, infectious and parasitic diseases at time of slaughter. Ante-mortem and post-mortem inspections have been carried out by veterinarians or meat inspectors under direct supervision of government veterinarians.

(別紙様式 3 - 2 衛生証明書様式 (家きん肉製品))

- 3) The meat which is the raw material of the poultry products is derived from animals which were slaughtered, processed, packed and stored hygienically at above-mentioned establishment(s) approved by the Director-General, Food Administration for export to Singapore, and is found to be sound, wholesome and fit for human consumption.

OR

- 3) The meat which is the raw material of the poultry products is imported from the slaughtering and/or cutting establishment(s) in the third countries/regions authorized by SFA, Singapore, and is found to be sound, wholesome and fit for human consumption.
- 4) The poultry products have been prepared in an establishment approved by the Director-General, Food Administration for export to Singapore. The establishment is audited regularly by the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan (MHLW) for compliance with sanitary standards based on Food Sanitation Act in Japan and conditions for export to Singapore.

OR

[only for CANNED/RETORT products]

- 4) The poultry products have been prepared in an establishment certified by MHLW and accredited for the import of poultry products by SFA. The establishment is audited regularly by MHLW for compliance with sanitary standards based on Food Sanitation Act in Japan and conditions for export to Singapore.
- 5) The poultry products have not been treated with chemical preservatives or other foreign substances that could be harmful to human health.
- 6) The poultry products were packed under hygienic conditions and every precaution has been taken to prevent contamination prior to export.
- 7) Retort processed poultry products (e.g. canned meat) have been heat treated (sterilizing process with sterilizing value of not less than Fo3) to commercial sterility in hermetically sealed containers and are shelf stable at ambient temperatures.

Name of inspector :

Official title :

Signature :

(Name of prefecture or city) :

HEALTH CERTIFICATE FOR EXPORT OF
EGG PRODUCTS FROM JAPAN TO SINGAPORE

No. :

DATE :
(Month/Day/Year)

I. Identification of the products

(Species of origin)	(Name of products)	
(Number of packages)	(Net weight of consignment with unit of measurement)	(Shipping marks)
(Consignor)	(Consignor address)	
(Consignee)	(Destination)	

II. Origin of products

(Name)	(Est. No.)	(Address)
(Processing plant)		

Date of production :

Type of packaging :

I hereby certify that:

- 1) The eggs used for processing have been cleaned using an automated egg washer; OR had a fully developed shell and were clean and dry before they were broken.
- 2) The egg products have been subjected to heat treatment and are free of pathogenic microorganisms, especially Salmonella.
- 3) Additives and/or colouring matters that could be harmful to human health have not been added.
- 4) The egg products have been handled and packed in a hygienic manner and are free from contaminants.
- 5) Retort processed egg products (e.g. canned egg products) have been heat treated (sterilizing process with sterilizing value of not less than Fo3) to commercial sterility in hermetically sealed containers and are shelf stable at ambient temperatures.
- 6) The egg products have been prepared in an establishment approved by the Director-General, Food Administration for export to Singapore. The establishment is audited regularly by the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan (MHLW) for compliance with sanitary standards based on Food Sanitation Act in Japan and conditions for export to Singapore.

OR

[only for CANNED/RETORT products]

- 6) The egg products have been prepared in an establishment certified by MHLW and accredited for the import of egg products by SFA. The establishment is audited regularly by MHLW for compliance with sanitary standards based on Food Sanitation Act in Japan and conditions for export to Singapore.

Name of inspector :

Official title :

Signature :

(Name of prefecture or city) :

(別紙様式 4 食肉衛生検査所等による証明書様式 (家きん肉製品))

証明書番号 :.....

証 明 日 :.....

〇〇〇 (申請者)殿

シンガポール向け輸出家きん肉製品の原料となる家きん肉に関する証明書

畜種、製品名	
包装数、箱数、正味重量	
食鳥処理場名、所在地、認定番号	
食肉処理場名、所在地、認定番号	
とさつ日	
カット日	
(その他ロット番号等、本証明書の対象範囲を特定する情報)	

本書類をもって申告する家きん肉は、シンガポールへ輸出することが可能な家きん肉であること*を証明します。

署名 :.....

氏名 :.....

食肉衛生検査所又は保健所名及び役職 :.....

都道府県等 :.....

*「シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱」別紙様式 3-1 に定める食肉衛生証明書を発行することができる家きん肉であること。

(別紙様式 5 - 1 輸出検疫証明書様式 (家きん肉及び家きん肉製品))

日本国農林水産省
輸 出 検 疫 証 明 書
EXPORT QUARANTINE CERTIFICATE
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japanese Government

検疫証明書番号
Certificate NO.

申請者住所
Name of applicant

発行年月日
Date of issue

氏名(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)
Name (In case of juridical person, state its title and name of representative)

下記は、家畜伝染病予防法の規定に基づく検査の結果、家畜の伝染性疾患の病原体をひろげるおそれがないことを証明する。

This is to certify that the undermentioned articles are free from any evidence of disseminating causative agent of any animal infectious disease in consequence of the inspection referred to the Domestic Animal Infectious Diseases Control Law.

物 品 の 種 類 Kind of article	
重 量 、 個 数 又 は こ う り 数 Weight, Nos. of package or containers	
商 標 Trade Mark	
容 器 包 装 の 種 類 Kind of container or package	
荷 送 人 住 所 氏 名 Name and address of consignor	
荷 受 人 住 所 氏 名 Name and address of consignee	
と う 載 地 及 び と う 載 年 月 日 Date & place of shipment	
と う 載 船 舶 (航 空 機) 名 Name of ship or flight	
検 査 実 施 年 月 日 及 び そ の 状 況 Date & condition of inspection	
備 考 Remarks	

農林水産省動物検疫所
Animal Quarantine Service

家畜防疫官
Animal Quarantine Officer

氏 名
(Signature)

印
(Seal)

*Attached export quarantine certificate for
frozen poultry meat and poultry products
to be exported to Singapore from Japan*

No. _____

I, the undersigned official veterinarian, certify that;

1. Highly pathogenic avian influenza (HPAI) and H5 and H7 low pathogenicity avian influenza (LPAI) are notifiable diseases in Japan.
2. Japan has been free from HPAI and LPAI of the H5 and H7 subtypes for the past three months prior to export.
OR;
 The frozen poultry meat and poultry products are not derived from birds originating from XXXX prefecture.
OR;
 The poultry products have been subjected to heat treatment that is sufficient for inactivation of Avian Influenza virus in accordance with OIE guidelines.
3. Japan is not practicing AI vaccination to control the disease.
4. The frozen poultry meat and poultry products were derived from animals which were born and raised in Japan since birth.
OR;
 The poultry products have been prepared from poultry which originated from establishments in the third countries/regions authorized by the Singapore Food Agency (SFA), and are not suspended or subjected to zonal restriction imposed by the SFA from exporting to Singapore.
5. The frozen poultry meat and poultry products have been inspected by Officials from the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF).

Animal Quarantine Service
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Japanese Government

Animal Quarantine Officer

OFFICIAL STAMP

Signature: _____

(別紙様式 5 - 2 輸出検疫証明書様式 (家きん卵製品))

日本国農林水産省
輸 出 検 疫 証 明 書
EXPORT QUARANTINE CERTIFICATE
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japanese Government

検疫証明書番号
Certificate NO.

申請者住所
Name of applicant

発行年月日
Date of issue

氏名(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)
Name (In case of juridical person, state its title and name of representative)

下記は、家畜伝染病予防法の規定に基づく検査の結果、家畜の伝染性疾患の病原体をひろげるおそれがないことを証明する。

This is to certify that the undermentioned articles are free from any evidence of disseminating causative agent of any animal infectious disease in consequence of the inspection referred to the Domestic Animal Infectious Diseases Control Law.

物 品 の 種 類 Kind of article	
重 量 、 個 数 又 は こ う り 数 Weight, Nos. of package or containers	
商 標 Trade Mark	
容 器 包 装 の 種 類 Kind of container or package	
荷 送 人 住 所 氏 名 Name and address of consignor	
荷 受 人 住 所 氏 名 Name and address of consignee	
と う 載 地 及 び と う 載 年 月 日 Date & place of shipment	
と う 載 船 舶 (航 空 機) 名 Name of ship or flight	
検 査 実 施 年 月 日 及 び そ の 状 況 Date & condition of inspection	
備 考 Remarks	

農林水産省動物検疫所
Animal Quarantine Service

家畜防疫官
Animal Quarantine Officer

氏 名
(Signature)

印
(Seal)

*Attached export quarantine certificate
for egg products to be exported to Singapore from Japan*

No. _____

I, the undersigned official veterinarian, certify that;

1. Highly pathogenic avian influenza (HPAI) and H5 and H7 low pathogenicity avian influenza (LPAI) are notifiable diseases in Japan.
2. Japan has been free from HPAI and LPAI of the H5 and H7 subtypes for the past three months prior to export.
OR;
 The egg products are not derived from birds originating from XXXX prefecture.
OR;
 The egg products have been subjected to heat treatment that is sufficient for inactivation of Avian Influenza virus in accordance with OIE guidelines.
3. The products have been inspected by Officials from the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF).

Animal Quarantine Service
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Japanese Government

Animal Quarantine Officer

OFFICIAL STAMP

Signature: _____

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局）長 殿

輸出者 住所
氏名 印
電話番号
法人にあっては、その所在地、名称
及び代表者氏名

食品輸出計画書

年度の食品の輸出計画を下記のとおり提出します。

記

- 1. 担当者：
部署名：
担当者氏名：
電話番号：
Email アドレス：

2. 輸出計画

輸出年月日	輸出国先・地域	輸出品目	数重量

厚生労働大臣 殿

申請者 住所
氏名 印
法人にあつてはその名称、所在地及び
代表者氏名

シンガポール向け輸出 $\left(\begin{array}{c} \text{家きん肉} \\ \cdot \\ \text{家きん肉製品} \\ \cdot \\ \text{家きん卵製品} \end{array} \right)$ 取扱施設の輸出製品の $\left(\begin{array}{c} \text{変更} \\ \cdot \\ \text{追加} \end{array} \right)$ 申請書

「シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱」に基づき、下記の認定施設の輸出製品の変更、追加又は取下げについて、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 認定施設の名称及び所在地
- 2 対象となる輸出製品名
- 3 変更・追加する製品は、現在、認定されている製品と $\left(\begin{array}{c} \text{同じ製造ライン} \\ \cdot \\ \text{異なる製造ライン} \end{array} \right)$ です。
- 4 変更・追加事項
- 5 変更・追加理由
- 6 添付資料（和文及び英文）

(別紙様式 7 - 2 輸出製品の取下げ届出)

年 月 日

厚生労働大臣 殿

申請者 住所
氏名 印
法人にあってはその名称、所在地及び
代表者氏名

シンガポール向け輸出

家きん肉
・
家きん肉製品
・
家きん卵製品

 取扱施設の輸出製品の取下げに係る届出

「シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱」に基づき、下記の認定施設の輸出製品の取下げについて、届け出ます。

記

- 1 認定施設の名称及び所在地
- 2 対象となる輸出製品名
- 3 取下げ理由
- 4 取下げ年月日

(別紙様式 8 変更又は認定取下げ届 (施設))

年 月 日

厚生労働大臣 殿

申請者 住所
氏名 印
法人にあつてはその名称、所在地及び
代表者氏名

シンガポール向け輸出 $\left(\begin{array}{c} \text{家きん肉} \\ \cdot \\ \text{家きん肉製品} \\ \cdot \\ \text{家きん卵製品} \end{array} \right)$ 取扱施設の $\left(\begin{array}{c} \text{変 更} \\ \cdot \\ \text{認定の取下げ} \end{array} \right)$ にかかる届出

「シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱」に基づき、下記の認定施設の申請事項の変更又は認定の取下げについて届け出ます。

記

- 1 認定施設の名称及び所在地
- 2 認定事項変更の場合、変更事項
- 3 変更・認定取下げ理由
- 4 変更・認定取下げ年月日
- 5 添付資料 (和文及び英文)

(別紙様式9 監視体制の変更届(食肉衛生検査所及び保健所))

年 月 日

厚生労働大臣 殿

都道府県知事等名

シンガポール向け輸出家きん肉取扱施設の監視体制の変更に係る届出

「シンガポール向け輸出家きん肉、家きん肉製品及び家きん卵製品の取扱要綱」に基づき、下記の認定施設の監視体制の変更について、関係書類を添えて届け出ます。

記

- 1 認定施設の名称及び所在地、食肉衛生検査所又は保健所の名称及び所在地
- 2 変更事項
- 3 変更理由
- 4 変更年月日
- 5 添付資料(和文)

(別紙様式10 Notification of change from Establishment (Poultry, Poultry Product and Egg Product))

Before

PARTICULARS OF ESTABLISHMENT

(1) Name of Establishment		
(2) Establishment Number		
(3) Address of Establishment		
Unit No.		
Street Name		
Post Code		
District/City		
State/Province		
(4) Products Intended for Export to Singapore		
Product name	Species	State (Chilled/Frozen)

After

PARTICULARS OF ESTABLISHMENT

(1) Name of Establishment		
(2) Establishment Number		
(3) Address of Establishment		
Unit No.		
Street Name		
Post Code		
District/City		
State/Province		
(4) Products Intended for Export to Singapore		
Product name	Species	State (Chilled/Frozen)

※ 英語で変更箇所が分かるように記載すること。